

岡山大学 MONTHLY DIGEST

VOL.108
2025.4

TOPICS

1

文部科学省「高度医療人材養成事業 (大学病院における医療人材養成環境の更なる高度化)」に採択



本学は、文部科学省令和6年度大学改革推進等補助金「高度医療人材養成事業(大学病院における医療人材養成環境の更なる高度化)」に採択され、3月28日に文部科学省のホームページで公開されました。

同事業は、各大学病院の置かれる実情等を踏まえた医療人材養成機能の充実を図るため、教育・研究に供する高度な機能を持つ最先端医療設備の整備を支援し、我が国の「未来の医療」を担う高度医療人材の養成に貢献することを目的とするものです。

今回の採択を受けて本学的那須保友学長は「今回の事業でも優れた外科医療養成環境の整備・拡充にとどまらず、それを生かし、新たな価値を生み出せる人材、我が国の『未来の医療』を担う高度医療人材をしっかりと育成し、社会を変革できる役目を果たしていきます」とコメントしました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id14144.html



TOPICS

2

令和7年度岡山大学入学式、大学院入学式を挙行

本学は4月2日、令和7年度岡山大学入学式および大学院入学式を岡山県総合グラウンド体育館で行い、学部生・大学院生ら計3,487人の入学を祝福しました。

那須保友学長は式辞で、「今日から岡山大学の学生として、『希望』に溢れた新しい一日が始まります。皆さんとともに築いていくこれからの未来が、これまでの本学の歴史や伝統を超えるものとなり、皆さんにより大きな『誇りと希望』をもたらすことを心から期待しています」と述べました。

入学生を代表し、文学部の伊藤優花さんが「私たちは変化に流されることなく、自分の夢や目標に向かって、主体的に何事にも挑戦していく決意を抱いています。私たち新入生は、歴史と伝統ある岡山大学において、目の前の課題に真摯な姿勢で取り組み、学生生活が実りあるものとなるよう努力することを誓います」と宣誓しました。 参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id14153.html



Pick up!



コンパクトシティってなあに？ 皆さんの暮らしに関係の深いコンパクトシティについて 都市計画の研究者がYouTubeで分かりやすく解説

本学の都市計画の研究者が、コンパクトシティについて市民向けの分かりやすい動画を作成し、その第一弾をYouTubeにて公開しました。

持続可能な都市構造を実現するための手段にコンパクトシティ政策があり、いま全国の自治体で実施されています。岡山県内の自治体でも岡山市や倉敷市、津山市、高梁市など数多く取り組まれています。市民の方々の認知度や理解度はあまり高くありません。私は、2021年9月にHP「氏原先生のコンパクトシティ講座」を立ち上げて、多くの方々に閲覧いただきました。今回、より視覚的に分かりやすく、かつ身近に感じてもらうために、動画を作成しました。

今回公開した動画のテーマは、「コンパクトシティってなあに？」です。今後も、コンパクトシティに関する動画を作成し、順次公開していく予定です。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id1373.html



TOPICS
3

岡山大学附属小学校および附属中学校表札の除幕式を挙行

4月1日、本学附属小学校および中学校は教育学部附属から大学附属学校に改組し、附属小学校正門にて表札の除幕式を挙行了しました。

除幕式では、小学校および中学校教職員の見守る中、那須保友学長、狩野光伸附属学校機構長、前田潔附属小学校長・中学校長による除幕が実施され、新たな表札がお披露目されました。

那須学長は、「大学附属の学校となり、自由で先進的・創造的・高い質の教育研究活動の全学的な推進を行うとともに、全学の人的・物的資源を活用し、学校現場の諸課題解決に資する先導的・実験的な取り組みを実施することで「全学附属化」のブランディングによる附属学校のさらなる魅力向上を目指す」とあいさつしました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id14167.html

TOPICS
4

宮竹貴久教授が「2025年度日本農学賞・読売農学賞」を受賞



農学分野で優れた成果を挙げた研究者に贈られる「2025年度日本農学賞」(日本農学会)の授与式が、4月5日に行われ、本学学術研究院環境生命自然科学学域の宮竹貴久教授が同賞を受賞しました。授与式は、日本農学賞授与式並びに読売農学賞授与式として、日本農学大会に協同して行われました。

今回、宮竹教授の「『特殊害虫』の根絶に資する基礎および応用研究」の業績が評価され、同賞の受賞が決定しました。宮竹教授は、受賞に対し「歴史ある賞をいただけることになり、大変光栄です。もっとも基礎的な研究の積み上げが農学という応用・実学において評価されたことを嬉しく思います」とコメントしています。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id14188.html

PRESS
RELEASE生命の源、光合成の足場を保つしくみの解明
～「足場＝チラコイド膜」を守り植物を高温に強くする～

岡山大学学術研究院先鋭研究領域の坂本亘教授らは、大阪大学蛋白質研究所の栗栖源嗣教授と川本晃大准教授、理化学研究所・環境資源科学研究センターの豊岡公德上級技師、京都産業大学生命科学部の寺地徹教授らのグループと共同で、光合成の光エネルギー転換反応が起こる「チラコイド膜」を維持するVIPP1と呼ばれるタンパク質のはたらきを明らかにし、このタンパク質を利用して高温に強い植物を作り出すことに成功しました。

このタンパク質は長いフィラメント状の構造が束状になって膜に隣接しており、高温などのストレスに応じてその形を変化させていました。また、植物(タバコ)でVIPP1タンパク質をたくさん作らせると高温に強くなることも突き止めました。生命の源、光合成の理解が進むとともに、環境に強い植物の育成にも役立つことがわかりました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id1371.html



坂本教授

